

令和6年度取組状況

ものづくり工学科 医療福祉工学コース 准教授 星 善光

取 組 状 況	
教育	<p>1. 講義内容や課題を時勢に合わせて更新 課題や資料の形式を改良した。学生が積極的に課題へ取り組めるように身近な事柄や視覚的に面白い内容に課題に取り入れた。また社会の変化に合わせて課題を修正した。学生の評価は以前と比較して上昇した。</p> <p>2. 授業後アンケートと質問カードの実施 全ての担当授業において、授業終了時に難易度や質問に関する小アンケートを実施した。難易度については翌週の授業調整にフィードバックすることで学生の興味を維持させることに活用した。質問については翌週の授業で回答し、学生の興味向上に貢献した。</p>
研究	
社会貢献	<p>1. OPC講座の開催 「高齢者・障害者の生活を支える新しい技術」を開催した。参加者からの評価は好評で、高齢者・障害者に関わる支援技術についての基礎知識や研究の重要性を広めることができた。参加者同士のディスカッションも情報交換の場として好評であった。</p> <p>2. 出前授業の実施 「身近なデータをコンピュータで解析してみよう」として中学校2校での出前授業を実施した。東京の気温や指の長さなど、身の回りにある数値情報をコンピュータで簡単な解析をすることで、データを測定して解析する面白さを体験してもらった。</p>